

## 2019年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月6日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東  
 コード番号 3668 URL <https://colopl.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 原井 義昭 TEL 03(6721)7770  
 定時株主総会開催予定日 2019年12月20日 配当支払開始予定日 2019年12月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年12月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年9月期の連結業績（2018年10月1日～2019年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	38,920	△15.0	2,952	△57.5	1,655	△72.9	1,070	△74.5
2018年9月期	45,776	△12.4	6,952	△46.2	6,097	△52.7	4,192	△51.8

（注）包括利益 2019年9月期 937百万円（△75.1%） 2018年9月期 3,770百万円（△58.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	8.40	8.35	1.5	2.2	7.6
2018年9月期	33.08	32.70	6.0	8.0	15.2

（参考）持分法投資損益 2019年9月期 -百万円 2018年9月期 -百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	74,740	69,433	92.9	544.53
2018年9月期	77,244	70,625	91.4	555.65

（参考）自己資本 2019年9月期 69,432百万円 2018年9月期 70,625百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	53	△2,768	△2,118	55,822
2018年9月期	9,421	1,979	△2,518	60,400

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期	-	0.00	-	17.00	17.00	2,160	51.4	3.1
2019年9月期	-	0.00	-	17.00	17.00	2,167	202.4	3.1
2020年9月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）1. 2018年9月期期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当5円00銭  
 2. 2020年9月期の配当額は未定であります。

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社（社名）コロプラネクスト上場株1号ファンド投資事業組合

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社オーバークロック、コロプラネクスト3号ファンド投資事業組合、コロプラネクスト5号ファンド投資事業組合、コロプラネクスト6号ファンド投資事業組合及びコロプラネクスト7号ファンド投資事業組合は重要性が増したため、当連結会計年度より連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年9月期	129,288,500株	2018年9月期	128,882,000株
2019年9月期	1,778,039株	2018年9月期	1,777,689株
2019年9月期	127,408,200株	2018年9月期	126,762,521株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年9月期の個別業績（2018年10月1日～2019年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	35,880	△17.8	2,748	△63.1	1,097	△82.9	594	△81.1
2018年9月期	43,666	△13.9	7,449	△49.5	6,422	△56.1	3,145	△63.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期	4.66	4.63
2018年9月期	24.82	24.53

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	74,324	69,822	93.9	547.58
2018年9月期	77,326	71,483	92.4	562.40

(参考) 自己資本 2019年9月期 69,822百万円 2018年9月期 71,483百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなどにより緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動等の影響により先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの業界におきましては、「ファミ通ゲーム白書2019」によると、国内ゲームアプリ市場は、2018年に前年比10.2%増の1兆1,660億円まで成長いたしました。また、2020年には1兆3,000億円に達し、安定成長を続けることが予想されております。また、The Goldman Sachs Group, Inc.の調査によると、VR(仮想現実:Virtual Reality)のハードウェア及びソフトウェアの世界市場規模は、2025年までに590億ドルに達すると予測されております。

このような環境の中、当社グループは、スマートフォン向けの既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新規ゲームについてはその投入に向けて注力してまいりました。また、VR端末向けコンテンツへの注力も進めており、様々な開発実験を行ってまいりました。

売上の多くを占めるスマートフォン向けゲームでは、当連結会計年度において、台湾・香港・マカオ向けに「アリス・ギア・アイギス」「ディズニー ツムツムランド」の配信を開始いたしました。また、国内向けに「バクレツモンスター」「最果てのパベル」および株式会社スクウェア・エニックスとの共同開発タイトル「ドラゴンクエストウォーク」の配信を開始いたしました。「クイズRPG魔法使いと黒猫のウィズ」や「白猫プロジェクト」といった既存ゲームにおいては、TVCMやオンライン動画プラットフォームのプロモーションに加え、グッズの製作、リアルイベント等を実施することでユーザとのエンゲージメントを高めるサービス運用をしてまいりました。また、「アリス・ギア・アイギス」PC版の配信を開始し、スマートフォン以外のデバイスへの展開を進めました。

VR端末向けコンテンツでは、Oculus RiftおよびHTC Vive向けに「TITAN SLAYER II」パッケージ版の配信を開始いたしました。

また、全社的な取り組みとして創業10周年を記念した「コロプラフェス2018」を開催しました。「クイズRPG魔法使いと黒猫のウィズ」や「白猫プロジェクト」といった人気タイトルをはじめ、創業時からのサービスである「コロニーな生活」や最新のVRゲームなど、さまざまなタイトルのステージやブースを展開し、たくさんの方々にご来場いただきました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は38,920百万円(前連結会計年度比15.0%減)、営業利益は2,952百万円(同57.5%減)、経常利益は1,655百万円(同72.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,070百万円(同74.5%減)となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は64,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,941百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。

また、固定資産は9,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ438百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は74,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,503百万円減少いたしました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,312百万円減少いたしました。これは主に、未払金が減少したことによるものであります。

また、固定負債は523百万円となり、前連結会計年度末比0百万円増加いたしました。これは主に、資産除去債務が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は5,307百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,311百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は69,433百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,191百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,578百万円減少し、55,822百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は53百万円となりました。主な収入要因は税金等調整前当期純利益1,318百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は2,768百万円となりました。主な支出要因は投資有価証券の取得による支出2,914百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は2,118百万円となりました。主な支出要因は配当金の支払額2,155百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
自己資本比率 (%)	73.6	86.0	91.5	91.4	92.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	397.6	269.5	215.4	121.3	304.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率 (%) : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 2015年9月期の各指標は、連結子会社が存在しないため個別ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

2020年9月期につきましては、引き続き既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新作ゲームについては年間に複数本数提供してゆくことで、業界内におけるアドバンテージを維持してまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際財務報告基準(IFRS)の適用時期等につきまして、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,400	55,473
売掛金	5,858	6,549
商品	157	36
仕掛品	226	411
貯蔵品	3	4
前払金	319	535
前払費用	405	447
その他	447	1,430
貸倒引当金	△26	△37
流動資産合計	67,792	64,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,923	2,003
減価償却累計額及び減損損失累計額	△364	△752
建物及び構築物(純額)	1,558	1,251
工具、器具及び備品	506	570
減価償却累計額及び減損損失累計額	△330	△401
工具、器具及び備品(純額)	175	168
土地	149	117
有形固定資産合計	1,882	1,537
無形固定資産		
のれん	296	—
ソフトウェア	34	51
無形固定資産合計	331	51
投資その他の資産		
投資有価証券	3,344	5,256
関係会社株式	83	3
関係会社出資金	1,315	51
敷金及び保証金	1,440	1,380
繰延税金資産	1,045	1,490
その他	12	118
貸倒引当金	△4	—
投資その他の資産合計	7,237	8,300
固定資産合計	9,451	9,889
資産合計	77,244	74,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	36	23
未払金	4,282	3,325
未払費用	222	168
未払法人税等	463	109
未払消費税等	139	106
前受金	798	905
預り金	136	110
その他	16	34
流動負債合計	6,096	4,783
固定負債		
資産除去債務	515	520
その他	6	3
固定負債合計	522	523
負債合計	6,619	5,307
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,491	6,510
資本剰余金	6,250	6,269
利益剰余金	62,473	61,376
自己株式	△4,644	△4,644
株主資本合計	70,571	69,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	△79
その他の包括利益累計額合計	53	△79
非支配株主持分	—	0
純資産合計	70,625	69,433
負債純資産合計	77,244	74,740

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	45,776	38,920
売上原価	28,357	26,409
売上総利益	17,418	12,511
販売費及び一般管理費	10,465	9,558
営業利益	6,952	2,952
営業外収益		
受取利息	17	54
有価証券利息	19	14
為替差益	43	—
投資有価証券売却益	918	58
雑収入	114	73
営業外収益合計	1,112	200
営業外費用		
為替差損	—	159
投資事業組合運用損	75	165
投資有価証券評価損	1,669	1,113
雑損失	222	58
営業外費用合計	1,967	1,497
経常利益	6,097	1,655
特別利益		
関係会社株式売却益	100	—
特別利益合計	100	—
特別損失		
関係会社株式評価損	349	—
減損損失	—	336
特別損失合計	349	336
税金等調整前当期純利益	5,849	1,318
法人税、住民税及び事業税	2,161	637
法人税等調整額	△504	△389
法人税等合計	1,656	248
当期純利益	4,192	1,070
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	4,192	1,070

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益	4,192	1,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△422	△132
その他の包括利益合計	△422	△132
包括利益	3,770	937
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,770	937
非支配株主に係る包括利益	—	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,433	6,192	60,835	△4,643	68,816
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	58	58			117
剰余金の配当			△2,639		△2,639
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			84		84
親会社株主に帰属する当期 純利益			4,192		4,192
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)					
当期変動額合計	58	58	1,637	△0	1,754
当期末残高	6,491	6,250	62,473	△4,644	70,571

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	475	475	0	69,293
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				117
剰余金の配当				△2,639
自己株式の取得				△0
連結範囲の変動				84
親会社株主に帰属する当期 純利益				4,192
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)	△422	△422	△0	△422
当期変動額合計	△422	△422	△0	1,331
当期末残高	53	53	—	70,625

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,491	6,250	62,473	△4,644	70,571
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	19	19			38
剰余金の配当			△2,160		△2,160
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			△6		△6
親会社株主に帰属する当期 純利益			1,070		1,070
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)					
当期変動額合計	19	19	△1,097	△0	△1,059
当期末残高	6,510	6,269	61,376	△4,644	69,511

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	53	53	—	70,625
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				38
剰余金の配当				△2,160
自己株式の取得				△0
連結範囲の変動				△6
親会社株主に帰属する当期 純利益				1,070
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	△132	△132	0	△131
当期変動額合計	△132	△132	0	△1,191
当期末残高	△79	△79	0	69,433

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	5,849	1,318
減価償却費	167	263
のれん償却額	593	296
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	7
為替差損益(△は益)	△38	173
関係会社株式売却損益(△は益)	△100	—
関係会社株式評価損	349	—
減損損失	—	336
投資有価証券売却損益(△は益)	△918	△58
投資有価証券評価損益(△は益)	1,669	1,113
売上債権の増減額(△は増加)	765	△654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4	△64
仕入債務の増減額(△は減少)	7	△13
未払金の増減額(△は減少)	△196	△978
未払消費税等の増減額(△は減少)	90	△33
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△49	△2
前受金の増減額(△は減少)	△181	107
前払費用の増減額(△は増加)	210	△41
その他	1,311	△252
小計	9,533	1,519
利息及び配当金の受取額	55	63
法人税等の支払額	△168	△1,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,421	53

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△143	△207
無形固定資産の取得による支出	△9	△33
投資有価証券の取得による支出	△760	△2,914
投資有価証券の売却による収入	2,857	434
関係会社株式の取得による支出	△100	—
関係会社株式の売却による収入	605	—
関係会社出資金の払込による支出	△525	—
関係会社出資金の払戻による収入	—	39
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△27
敷金及び保証金の回収による収入	70	0
その他	△15	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,979	△2,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	117	38
配当金の支払額	△2,634	△2,155
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,518	△2,118
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	△173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,920	△5,007
現金及び現金同等物の期首残高	51,409	60,400
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	71	428
現金及び現金同等物の期末残高	60,400	55,822

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	555.65円	544.53円
1株当たり当期純利益金額	33.08円	8.40円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	32.70円	8.35円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	70,625	69,433
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	0
(うち非支配株主持分(百万円))	—	0
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	70,625	69,432
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	127,104,311	127,510,461

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	4,192	1,070
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	4,192	1,070
期中平均株式数(株)	126,762,521	127,408,200
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,469,275	764,373
(うち新株予約権(株))	(1,469,275)	(764,373)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。